

日中サービス支援型事業者に対する  
実施状況の評価について（叩き台）

1 日中サービス支援型が有するリスク

日中サービス支援型は、利用者が日中を主にグループホーム内サービスを利用して過ごすことになるため、他の類型と比較して、次のような問題が生じやすいと考えられる。

- ・利用者の外部サービス等を利用したいという意思が事業者の都合で制限される
- ・生活範囲がグループホーム内で完結することにより入居者の心身に不調が生じる
- ・外部の目が入りにくいため、グループホーム内で不適切な支援が行われた場合、それが顕在化し難い

2 評価の観点

- グループホーム内で上記のような問題が生じていないか
- 外部の日中活動サービス等の利用が難しいというグループホーム側の判断は妥当か
- 日中のグループホーム内サービスが適切に提供されているか

3 評価する内容

事業者が作成した「実施状況評価シート」の記載内容から、次の状況を把握し、適切に実施されているかを確認する。

○グループホームの運営に関すること

- ・職員配置 ・平面図 ・内部（ホーム内サービスの提供場所等）の写真
- ・日中の支援（ホーム内サービス）状況 ・地域との交流状況

○入居者の状況に関すること

- ・入居者の状態像（年齢、障がい種別、障がい支援区分等）
- ・入居者の生活状況（日中の過ごし方、利用しているサービス等）
- ・日中をグループホーム内で過ごす入居者に対して外部の日中活動サービス等の利用しない理由